

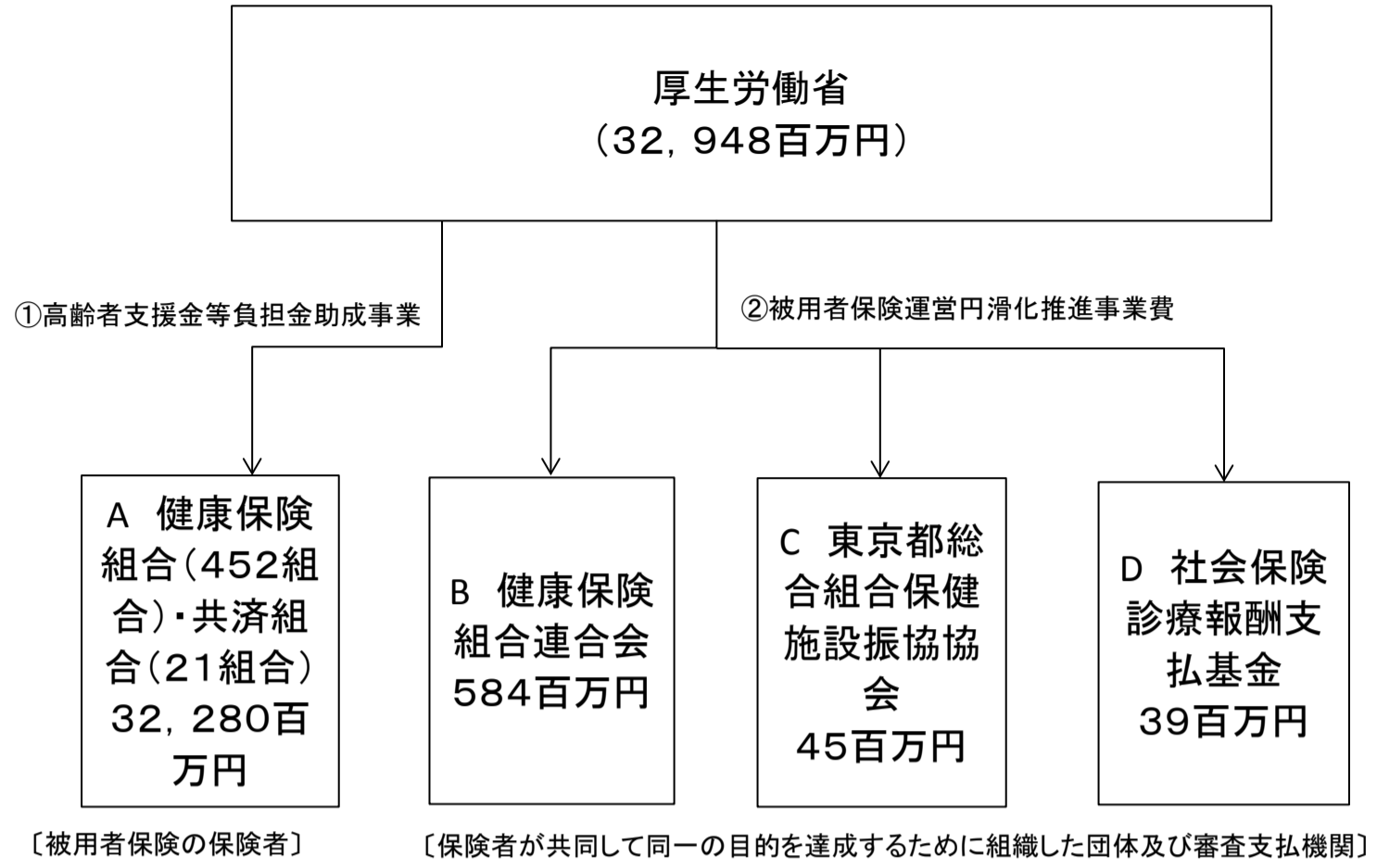
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	高齢者医療運営円滑化等補助金	担当部局庁	保険局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度	担当課室	高齢者医療課	横幕 章人			
会計区分	一般会計	施策名	Ⅳ-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む。				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	高齢者の医療の確保に関する法律 第102条 (予算補助)	関係する計画、通知等	○厚生労働省発保0609第1号(平成22年度高齢者医療運営円滑化等事業費の国庫補助について)等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	高齢者医療制度の基盤の安定化を図るため、被用者保険の保険者の後期高齢者支援金等の負担を緩和するための助成及び特定保健指導等の実施に対する助成を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>①高齢者支援金等負担金助成事業 後期高齢者支援金等の拠出金負担が重い被用者保険の保険者(健保組合・共済組合)に対する助成事業(平成21年度までは社会保険診療報酬支払基金が助成事業を実施)</p> <p>②被用者保険運営円滑化推進事業 保険者が共同で組織した団体が実施する特定健康診断等の支援、法令に基づき高齢者医療関係業務を行う社会保険診療報酬支払基金のシステム改修等に対する助成事業(平成21年度までは社会保険診療報酬支払基金が助成事業を実施)</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算		18,981	32,949	31,663	30,879
		補正予算		3,062	0		
		繰越し等					
		計		22,043	32,949	31,663	30,879
		執行額		21,652	32,948		
	執行率(%)		98.2%	99.9%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	拠出金負担が重い保険者に対する助成等を行うことにより、高齢者医療制度の基盤の安定化を図る。	成果実績	団体		1(358)	476	341
		達成度	%		100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	<p>①高齢者支援金等負担金助成事業 拠出金負担が重い保険者に対する助成財源率(報酬総額に占める拠出金の割合)が健保組合平均の1.1倍以上の保険者に対して、財源率に応じて助成。</p> <p>②被用者保険運営円滑化推進事業 健保連等が各健保組合に対して行う特定保健指導支援事業に対する助成、社会保険診療報酬支払基金への後期高齢者支援金計算システム改修経費の助成等。</p> <p>③事務諸費(平成21年度まで) 社会保険診療報酬支払基金が実施する助成事業の事務費。</p>	活動実績 (当初見込み)	百万円		①16,216 ② 5,392 ③ 45	①32,280 ② 668 ③ -	①31,134 ② 529 ③ - (31,663)
単位当たりコスト	69(百万円/件)		算出根拠	健保組合等助成交付先1件当たりの平均額。			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	①高齢者支援金等負担金助成事業	31,134百万円	30,371百万円	助成対象見込数の減			
	②被用者保険運営円滑化推進事業	529百万円	508百万円	人件費における稼働日数の減			
	計	31,663百万円	30,879百万円				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	平成22年5月11日参議院厚生労働委員会の国民健康保険法等の一部改正法案に対する附帯決議において、当事業の継続、更なる拡充が求められている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	各健康保険組合等の報酬総額、被保険者数、報酬総額に占める拠出金の割合等の詳細なデータを基に厳格に交付先を決定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	平成21年度においては、社会保険診療報酬支払基金を通じて交付を行っていたが、平成22年度から国が直接執行することとし、同基金への事務諸費の削減を行うとともに、交付時期についても3月から12月として早期執行に努めた。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>高齢者医療制度は現役世代からの拠出金負担によって支えられており、拠出金の算定は主に各健康保険組合等の加入者数に応じて負担するため、拠出金負担の財政的支援について、参議院厚生労働委員会の附帯決議や国会審議においても、当助成事業の継続・拡充が求められている。</p> <p>交付対象は、約1500の健保組合等の中から、毎年度、厳正な基準を設定したうえで、拠出金負担が重い健保組合等に限定している。</p> <p>なお、平成22年度においては、厚生労働省による関係法人の業務見直しの一環として社会保険診療報酬支払基金が実施していた交付事務を国に移管し、事務諸費補助金を全額削減した。また交付時期についても事務の効率化を図って早期執行に努めている。</p> <p>また、平成23年度は、事業仕分けの評価結果を踏まえ、交付基準を更に「運営に困難をきたしている保険者」に限定することとしている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	平成23年度予算において、事業仕分けの評価結果を踏まえた見直しを行っているが、引き続き政策効果等を検証し縮減すること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
政策効果等を検証し縮減(反映額: ▲783百万円)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>事業仕分け第3弾 A-15 高齢者医療運営円滑化等補助金(高齢者支援金等負担金助成事業)</p> <p>●WGの評価結果 見直しを行う(運営に困難をきたしている保険者に限定)</p> <p>●とりまとめコメント 多くの国民の皆様にとって関心の高い分野であり、わかりやすく説明することが重要である。その上で、取りまとめとして、運営に困難をきたしている保険者に補助対象を限定するという見直しをしっかりと行っていただきたい。 今日の議論を踏まえ、より明確かつこの制度の趣旨にかなった形での配分基準で配分していただきたい。来年度予算であるから、当然のことながら来年度予算案がまとまるまでには、見直しの具体的な中身を示していただきたい。</p> <p>●予算額 22年度:32,245百万円 → 23年度:31,134百万円 (△1,111百万円)</p> <p>参議院厚生労働委員会(平成22年5月11日) 医療保険制度の安定的運営を図るための国民健康保険法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議(抄) 「拠出金負担によって、運営に困難をきたしている保険者に対する財政支援を同法案の措置期限である平成24年度までの間、継続し、かつ更に充実すること。」</p> <p>平成23年度における助成基準 平成23年度における助成基準は、事業仕分けの評価結果を踏まえ、交付基準を更に「運営に困難をきたしている保険者」に限定することとしている。</p>			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)

A.健康保険組合・共済組合			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
補助金	(上位10位別添リスト)	32,280			
計		32,280	計		
B.健康保険組合連合会			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
補助金	保健師等に係る諸謝金等	584			
計		584	計		0
C.東京都総合組合保健施設振興協会			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
補助金	保健師等に係る諸謝金等	45			
計		45	計		0
D.社会保険診療報酬支払基金			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
補助金	システム改修委託	39			
計		39	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	a健康保険組合	被用者保険の保険者	2,664	—	—
2	b健康保険組合	被用者保険の保険者	1,558	—	—
3	c健康保険組合	被用者保険の保険者	1,307	—	—
4	d健康保険組合	被用者保険の保険者	1,212	—	—
5	e健康保険組合	被用者保険の保険者	1,092	—	—
6	f健康保険組合	被用者保険の保険者	713	—	—
7	g健康保険組合	被用者保険の保険者	664	—	—
8	h健康保険組合	被用者保険の保険者	627	—	—
9	i健康保険組合	被用者保険の保険者	514	—	—
10	j健康保険組合	被用者保険の保険者	513	—	—